

令和7年度 “「長久手市役所の仕事」通知表” の作成 ～長久手市行政評価・外部評価～

地域活動支援センター運営事業

福祉部 福祉課

まちづくり、まずは笑顔でこんにちは

長久手市はあいさつ運動に取り組んでいます

1 事業概要

◆事業名

地域活動支援センター運営事業

◆事業開始の背景

障がいのある方が地域の中で自立した生活を送れるように、創作的活動、生産活動、地域交流などの機会を提供する場として地域活動支援センターを設置した。

2 事業の実施体制

◆組織体制、人員

課長	1 人
----	-----

課長補佐兼保護係長	1 人
-----------	-----

障がい福祉係長	1 人
---------	-----

係員	6 人
----	-----

（うち、担当 2 人（主担当 1 人、副担当 1 人））

（うち、会計年度任用職員 2 人）

3 事業の目的①

◆事業のゴール（市としてどうなるのか）

最終アウトカム

障がいのある人が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができる。

3 事業の目的②

◆事業対象（誰、何を対象にしているか）

市民 約2,000人

◆対象者がどうなることを目指すか

中間アウトカム

地域活動支援センターにおいて人との交流や活動を通じて、自立した生活ができるようになる。

3 事業の目的③

◆どんな活動を行うのか

障がいのある方が地域の中で自立した生活を送れるように、創作的活動、生産活動、地域交流などの機会を提供する地域活動支援センターを運営します。

地域活動支援センター



とは・・・ **憩いの場所**

- 家から一歩出て生活リズムをつけたい
- 少しの時間でも過ごして息抜きがしたい
- 活動などを通して人との交流がしたい

利用の仕方は自由です。ご自身の好きな時間帯でご利用いただけます。

利用時間

10:00-16:00
月一金
お好きな時に♡

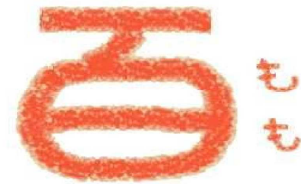
お問い合わせ・ご見学はお電話下さい。

電話：0561-76-0343
(月～金 10:00～16:00)

電子メール：momo@momochidori.jp
WEB：http://www.momochidori.jp/

社会福祉法人
百千鳥福祉会

検索



地域の障がいのある方が安心して、いきいきと自分らしく生活できるように支援するところです。

- ご利用いただける方
障がいのある方がご利用いただけます。
対象者であることの確認書類が必要です。
＜確認書類の例＞

- 障害者手帳
- 診断書
- 自立支援医療受給者証等

- 利用方法
利用登録でご利用いただけます。
市が発行する受給者証は必要ありません。

- 利用料
無料（ただし、プログラム等にかかる実費分の負担が生じる場合あり）

※地域活動支援センター百は、
市からの委託により実施しています。



ACCESS



交通アクセス

- 長久手市役所より500m 徒歩約8分
- リニモ長久手古戦場駅より800m 徒歩約12分
- Nバス 平子より1分

所在地：〒480-1103
愛知県長久手市岩作平子34番地1
レジデンス千代萬1F

4 成果指標

◆成果指標（対象者の変化をはかることができる指標）

安定した日常生活のために地域活動支援センターが役立っていると回答した利用者の割合

◆指標の設定根拠

令和6年度にセンターを利用したことがある利用者のアンケートの結果を元に設定した。

※令和6年度から指標に係る数値を確認

◆成果推移と成果目標

（単位：％）

一年度実績	R 5年度実績	R 6年度実績	R 7年度	R 8年度
	-	88.9	90	90

令和7年5月12日(月曜日)までに、市へご提出をお願いします。

地域活動支援センター百に関するアンケート

この調査は、市からの委託により運営されている「地域活動支援センター百(以下「センター百」という。)」について評価を行い、今後のセンター百の運営の参考とさせていただきますことを目的として実施するものです。

この回答により、運営事業者(社会福祉法人百千鳥福祉会)にお名前や回答内容が漏れること等、利用者の方のみなさまに不利益が生じることは一切ありませんので、率直なご意見をお聞かせ願います。

このアンケートでは、令和6年4月～令和7年3月の間のことについてお聞きします。回答は、当てはまる項目に、✓を付けてください。答えたくない質問は、飛ばしてください。

Q1. センター百のことや、センター百に通ってご自身で感じられる変化について教えてください。(あてはまるものを1つ選んでください)

①センター百の居心地

☐ 安心して過ごせる ☐ 落ち着かないときがある ☐ どちらでもない

②センター百の職員

☐ 話しやすい ☐ 話にくい ☐ どちらでもない

③他の利用者との交流

☐ 楽しい ☐ 楽しくない ☐ 交流がない

④自身の外出の機会

☐ 増えた ☐ 増えていない(変わっていない)

⑤新しいことへの挑戦

☐ 挑戦しようと思った ☐ 挑戦しようとは思わない
☐ どちらでもない

⑥生活リズム

☐ 安定した ☐ 安定していない ☐ 変わっていない

Q2. ご自身の安定した日常生活のために、センター百が役立っていると思いますか。

☐ 役立っていると思う ☐ 役立っていると思わない

Q3. センター百を利用してよかったことがあれば教えてください。

(例: 楽しかったこと、助かったこと、うれしかったこと など)

Q4. 今後、センター百でやってみたいことや希望があれば教えてください。

(例: こんな活動がしたい、こういうプログラムがあったらいいな、など)

Q5. その他、ご意見・ご感想があればご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた内容について、福祉課から連絡させていただく場合があります。差し支えなければ以下にお名前と連絡先をご記入ください(任意)。

利用者氏名

記入者氏名

(利用者との関係)

連絡先

5 事業のふりかえり

◆事業開始からの主要なエピソード



◆令和6年度の活動エピソード

周知広報の工夫、活動プログラムの充実、医療との連携強化を図ったが、利用者の多くが精神障がい者であり、利用者同士の相性、心身の不調、送迎がないこと等の理由で、想定以上に利用者数が伸びなかった。なお、地域活動支援センターを利用しなくなった人の中には、次のステップとして就労継続支援事業につながった人もいる。

6 課題分析①

◆目標達成状況（進捗状況は順調か）

年間で37人の利用があったが、アンケートに回答があったのは半数弱の18人であり、また利用者には日常的に通所している人から年に数回の人など利用頻度も様々であることから、アンケート結果のみで成果を達成できたとは言えないが、主として精神障がい者の日中の居場所として認知が広がってきていると考える。

◆目標達成のために対処が必要な要因

改善ポイント

現在地域活動支援センターへの送迎サービスは行っていないが、公共交通機関を利用しなくては通所できないことが理由で、通所につながらない人が一定数いる。利用開始時だけでも、送迎を行い手厚い支援を行う必要がある。

6 課題分析

◆事業の方向性

☐ 拡充
 ☐ 維持
 ☐ 縮小/廃止



事業の方向性	コストの方向性
	

◆中長期の計画（改善ポイントを踏まえ具体的に記入）

[illegible]

7 おわりに

◆外部評価実施者に助言をもらいたいことなど

